

防衛省の令和5年度宇宙関連予算案

令和5年2月
防衛省

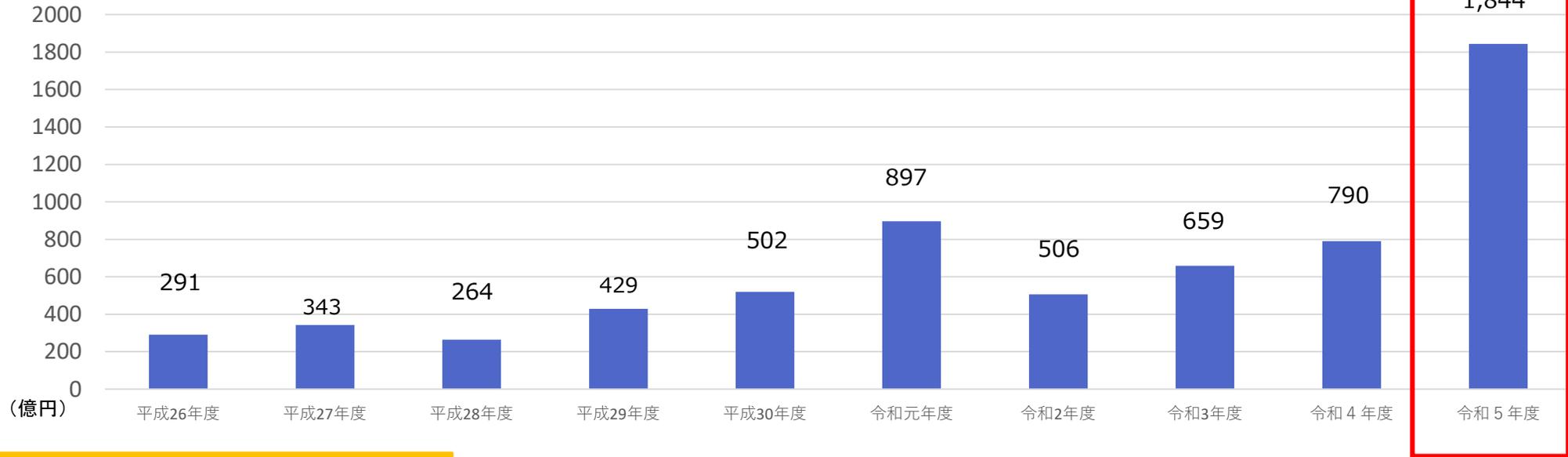
防衛省の令和5年度宇宙関連予算案の概要

- 宇宙領域は今や国民生活及び安全保障の基盤であり、宇宙利用の優位を確保することは、我が国にとって極めて重要。
- このため、宇宙領域を活用した情報収集等の能力を含めた宇宙作戦能力の強化が必要。
- 防衛省は令和5年度宇宙関連予算案として、契約ベースで約1,844億円、歳出ベースで約1,278億円を計上。

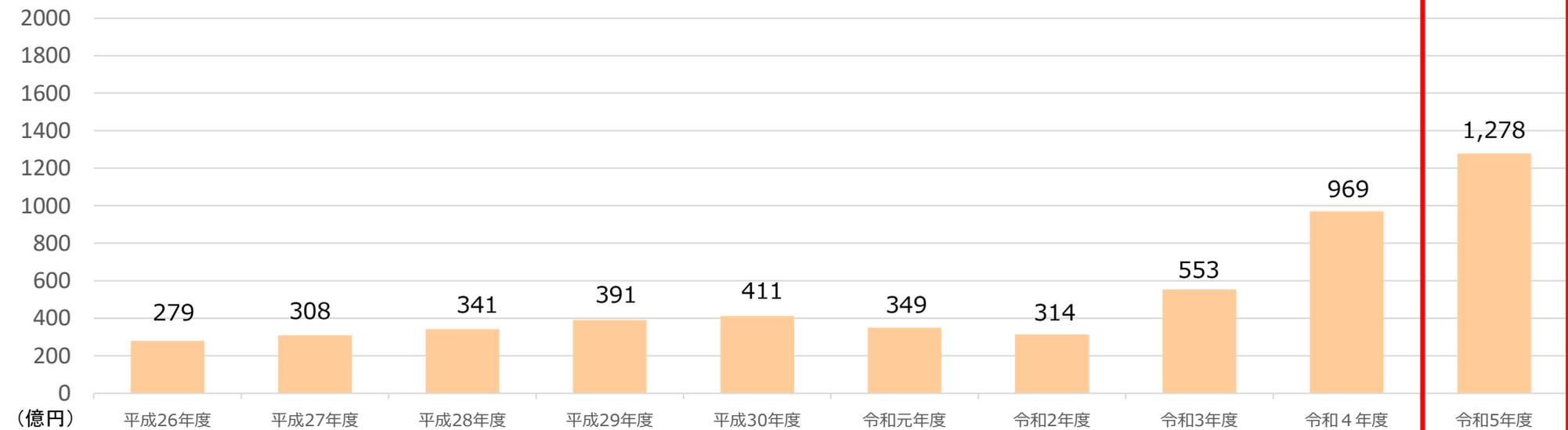
主要項目	令和5年度予算 (契約ベース)	令和5年度予算 (歳出ベース)
宇宙から「つなぐ」		
PATS加盟の実証	19億円	2億円
衛星通信の高抗たん化技術実証	16億円	0億円
低軌道通信衛星コンステレーションのサービス利用	2億円	0.6億円
Xバンド衛星の通信網の強化等	343億円	305億円
宇宙から「とらえる」		
衛星を活用したHGV探知・追尾等の対処能力の向上に必要な技術実証	46億円	5億円
宇宙領域の活用に必要な共通キー技術の先行実証	80億円	16億円
画像解析用データの利用	226億円	194億円
宇宙利用を「まもる」		
宇宙領域把握（SDA）の強化	595億円	286億円
宇宙作戦指揮統制機能等の整備	137億円	342億円
全体総額	1,844億円	1,278億円

宇宙関連予算推移（平成26年度～令和5年度）

宇宙関連予算の推移（契約ベース）



宇宙関連予算の推移（歳出ベース）



<PATs加盟の実証> 19億円

米国を中心とする加盟国間で通信帯域を共有する枠組であるPATs (Protected Anti-jam Tactical SATCOM)へ参加するため、通信機材の整備・実証を行い、通信の抗たん性を確保する。

※ PATs (Protected Anti-Jam Tactical SATCOM) : 抗たん性のある通信方式を適用した米国がリードする多国間の衛星通信の枠組

<衛星通信の高抗たん化技術実証> 16億円

次期防衛通信衛星に搭載することを念頭に、妨害に対して抗たん性を有する技術等に関して技術実証を行う。

<低軌道通信衛星コンステレーションのサービス利用> 2億円

民間コンステレーションの通信サービスの利用について、陸・海・空各部隊における実証を行い、通信容量の不足に対応する。

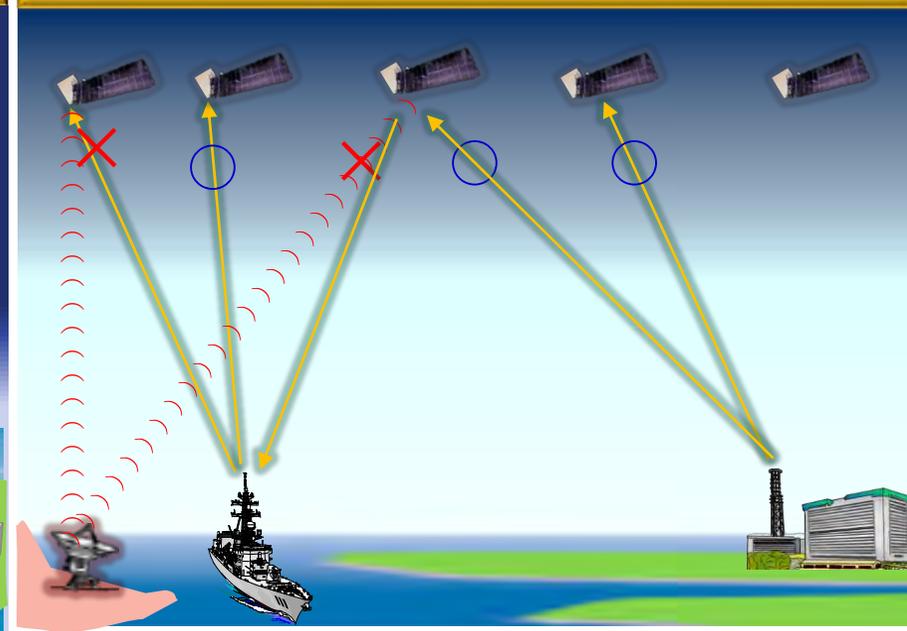
<Xバンド衛星の通信網の強化等> 343億円

防衛通信衛星「きらめき」と通信可能な装備品・関連地上施設を拡充するため、さらなる受信機材の調達や地上局通信の広帯域化を実施する。

衛星通信の高抗たん性技術実証



低軌道通信衛星コンステレーションサービス利用



＜衛星を活用したHGV探知・追尾等の対処能力の向上に必要な技術実証＞ 46億円

衛星を活用したHGV探知・追尾等の対処能力の向上に必要な技術について、技術的成立性に関して早期に確認をするため、宇宙機に赤外線センサ等を搭載し、HGVを模擬した熱源の観測や背景情報を取得する実証を行う。

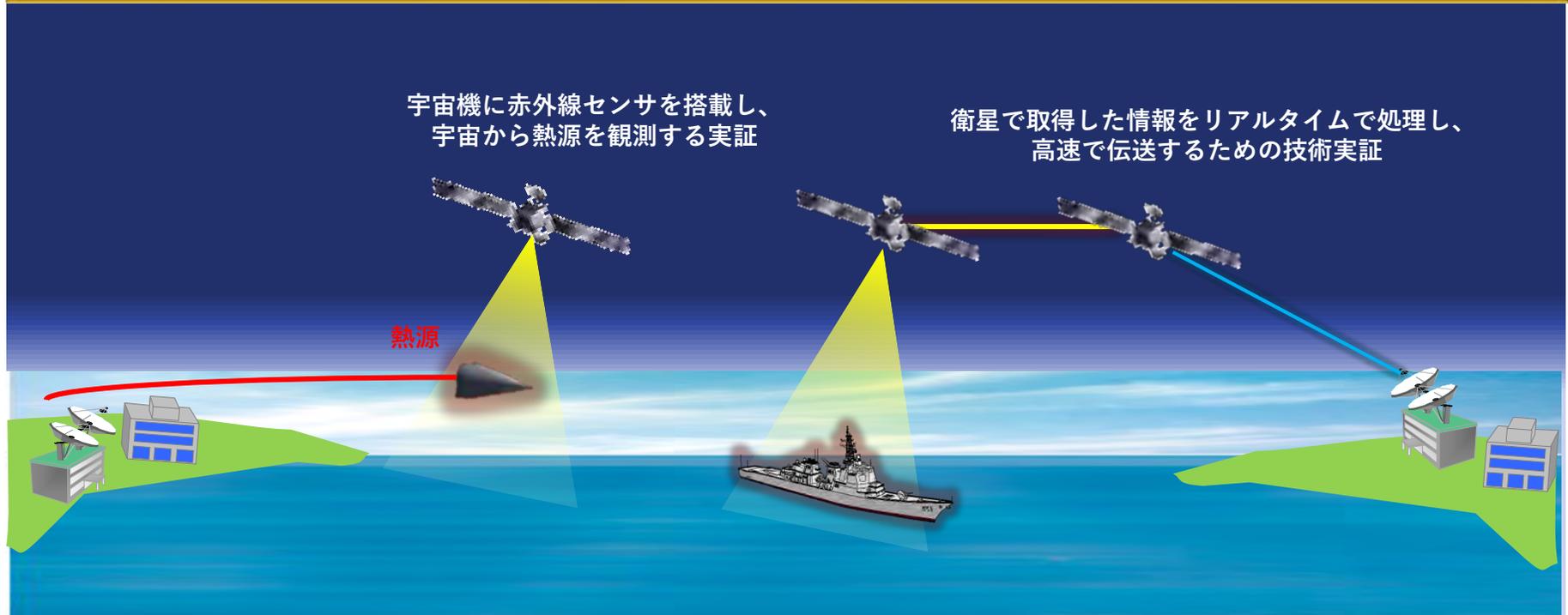
＜宇宙領域の活用に必要な共通キー技術の先行実証＞ 80億円

衛星コンステレーションをはじめ、宇宙領域を広く活用するに当たり必要となる、衛星で取得した情報をリアルタイムで処理し、他の衛星に高速で伝送するための技術を早期に確立するための技術実証を行う。

＜画像解析用データの取得＞ 226億円

高解像度を有する民間光学衛星をはじめ、多頻度での撮像を可能とする小型衛星コンステレーションを含む各種民間衛星等を用い、周辺地域における情報収集を実施する。

衛星を活用したHGV探知・追尾等の対処能力の向上に必要な技術実証 / 宇宙領域の活用に必要な共通キー技術の先行実証



宇宙利用を「まもる」

※ 赤字は契約ベースの金額

<宇宙領域把握 (SDA) の強化> 595億円

2026年度までの打上げに向けてSDA衛星の製造・取得等を行うとともに、更なる複数機運用について検討するなど各種取組を進める等SDA能力を強化。

※ Space Domain Awareness : 宇宙領域把握

<宇宙作戦指揮統制機能等の整備> 137億円

宇宙作戦の運用基盤を強化するため、宇宙作戦指揮統制システム等を整備する。これにより、彼我の宇宙アセット等の現況把握を通じた宇宙領域における作戦サイクルを効果的に管理していくことが可能となり、効果的な指揮統制に資する。

